



新入社員 Y さんの住まいの災害リスクを専門家が丸裸に！ 行ってはいけない避難所…地震時に揺れよりもコワイこと…

度重なる地震、いまだ記憶に新しい去年の台風被害。住まいへの防災意識が高まる中、業界初の個人向け不動産コンサルティング・ホームインスペクション（住宅診断）を提供している“不動産の達人”株式会社さくら事務所（東京都渋谷区／社長：大西 倫加）では、より個々のケースに応じた具体的な防災対策を考えるための新サービス「災害リスクカルテ」を先月より開始しました。「水害」「土砂災害」「地震時の揺れやすさ」「地盤の液状化」「大規模盛土など」「津波など」の5つの項目にわたり、それぞれのリスクと対策をホームインスペクター（住宅診断士）が解説します。今回はその新サービスを、この春さくら事務所に入社してきたばかりのYさんが挑みました！そこで発覚した意外な事実は何？



何かあったら逃げようと思っていた最寄りの避難所、そのリスク！

浸水想定エリアに指定されていた Y さん住まい周辺。浸水の可能性があれば最寄りの避難所 A に逃げようと思っていましたが、実はその避難所へのルートは、自宅より深い浸水が想定されていることが発覚。インスペクターのアドバイスで、台風や水害の際にはもう 1 か所の避難所 B に逃げるようアドバイスがありました。災害の種類に応じて逃げる必要があるのかなのか？を把握することは重要ですが、命を守るためにはその避難ルートの安全性も知っておく必要があります。

新耐震なら地震でも安心？近隣の古い木造密集地域に、思わぬ危険の可能性が

築年数の浅いアパートのため、地震の際も命を守る可能性は高いとのインスペクターの評価でしたが、実は地震時に気を付けるべき点が他にも。それは周辺家屋の倒壊や火災。先ほど、水害時にすすめられた避難所 B への道には木造密集地域があります。火災や家屋倒壊で、避難所までのルートは移動や避難が困難なおそれがありますので、地震などの際には避難所 A をお勧めされました。

コンサルティングの全容はこちらから…<https://www.sakurajimusyo.com/guide/25540/>

【災害リスクカルテ(面談アドバイスつき)】サービス概要

開始日時 : 2020 年 5 月 26 日 (火) ～ 対応地域 : 全国

対象の方 : 戸建／マンション（新築・中古・リフォーム）にお住まいの方 または 購入予定の方

サービスの流れ : お申し込み時に住所をお知らせいただき、3 日以内にレポートをメール送信。

レポート後、建物アドバイス（10 分～15 分）をさせていただきます。

料 金 : 9,800 円（税抜・災害リスクカルテ+10～15 分間の電話面談含む）※住所 1 箇所につき 1 案件

※現地確認した上でのレポートではありません。

※公開情報をもとに一般的な災害リスク傾向の情報を示すもので、リスクや災害発生の可否を担保・保証するものではありません。

くわしくはこちら…<https://www.sakurajimusyo.com/expert/tochi-jiban-report.php>

■不動産の達人 株式会社さくら事務所■（東京都渋谷区／代表取締役社長：大西倫加） <https://www.sakurajimusyo.com/>

株式会社さくら事務所は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断（ホームインスペクション）やマンション管理組合向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスを行なう「不動産の達人サービス」を提供、48,000組を超える実績を持っています。

本件に関するお問い合わせは、お気軽に下記までご連絡ください。

株式会社さくら事務所

東京都渋谷区桜丘町 29-24 桜丘リージェンシー101

<https://www.sakurajimusyo.com/>

TEL 03-6455-0726

FAX 03-6455-0022

マーケティング・コミュニケーション部 :

川崎 徳子 press@sakurajimusyo.com